基調講演（13:05〜14:05）
'Illustrations and diagrams in Arabic and Latin scientific works in the Middle Ages'
（中世アラビア語・ラテン語科学文献における挿絵と図表）
チャールズ・バーネット氏
（ロンドン大学ウォーバーグ研究所教授）
※英語講演・日本語翻訳付

シンポジウム（14:15〜18:00）

■道具と知識源としての書物
—日本近世初期の占い書における「絵」と「図」を手がかりに—
マティアス・ハイエク氏（パリ第7大学准教授）

■中・日の文献との比較による、国立中央図書館蔵『唐四柱』の分析
金時徳氏（高麗大学日本研究センター研究教授）

■「羊鳴いの暦」と占星術
—中世後期における暦と人生設計—
松田隆美氏（慶應義塾大学文学部教授）

■中世アラビア語写本の挿絵について
—天文學・占星術・魔術—
山本啓二氏（京都産業大学文化学部教授）

問合せ先
慶應義塾大学附属研究所歴道文庫内
佐々木孝浩
電話 03-5427-1582（歴道文庫☎）
http://www.sido.keio.ac.jp

シンポジウム
来聴自由

2010年12月18日（土）
13:00〜18:00
慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール